

青森FHCニュース

発行 青森FHC 会長 磯辺洋明

編集委員 大石忠秀・櫻田正行

6月例会報告 ≪ 鳥海山 ≫ 山形県 標高2,236m 担当：大石

日時：平成30年 6月30日（土）～7月1日（日） 5：00～

参加：大石CL、櫻田SL、及川、会津、葛西（直）、佐藤メンバー



6/30（土）～7/1（日）くもり 参加者6名

5時に青森インターを出発し、10時に鉾立登山口を出発。

今年はとても雪が多く残っていて、雪渓のところではガスがかって回りが真っ白で何も見えず、風も強く登山をあきらめて下山する人が何人もいた。（我がファミリーには前進あるのみ！）雪渓の所を過ぎると、チョウカイフスマやイワカガミなどの可愛い小花がたくさん咲いて目を楽しませてくれた。

12時50分、御浜小屋に着き昼食と休憩。（櫻田さんが話していた出るものも出なくなる様な、汚いトイレがきれいなトイレになっていた。）

13時25分、小屋を出発し文珠岳15時5分着。周りがガスがかって真っ白で、風も強く飛ばされる様だった。予定より1時間遅れて、17時山頂直下の御室小屋に到着。

みんなへろへろに疲れ切っていた。山頂（新山）へは明日の天気の状態を見て登ることにした。

17時30分夕食。

今日（6/30）が今年の山小屋オープンの日で、天候も悪くてキャンセルも多かったそうで、山小屋は空いていてゆっくり休むことができた。19時頃就寝。

5時起床。5時30分朝食。

外はガスがかって真っ白で、景色は見えないしどうする？という雰囲気だったが、会津さんが「葛西さんも及川さんも初めて鳥海山に来たんだし、私も3回目だから登りましょう！」と言ったかどうか記憶にないが、山頂を目指すことにした。

6時25分頂上へ出発。

岩だらけの所を登り、6時45分新山（2,236m）到着。ガスの一瞬晴れ間に下界の眺望を堪能。

鳥海山大物忌神社の前で記念撮影をして下山。

10時頃御浜小屋の鳥海湖が見える岩場の所で、櫻田さんの美味しいコーヒーを飲みながらの軽食。鳥海湖は氷に覆われていた。

12時30分、鉾立登山口着。

帰りに湯の台温泉「鶴泉荘」へ寄り汗を流す。道の駅「象潟ねむの丘」でお土産を買い帰路へ。

18時15分青森インター着。

ガスがかって景色はあまり見られなかったが、雨も降らず何事もなく無事に帰ることができ、素晴らしい登山だった。運転して下さった大石さん、櫻田さん、及川さん有難うございました。皆さまお疲れ様でした。



イワカガミ



ニッコウキスゲ



チョウカイフスマ？



なんだろう？



登り始めの眺望もgood！



御浜小屋近くの鳥海湖



夕食、持参した缶ビールで乾杯！



それぞれの頂上、初登頂は会津さん、及川さん、葛西さん



新山は大きな岩だらけ



鳥海山大物忌神社と新山 (2,236m) をバックに



雪渓を滑って下山

7月例会案内 ‹ 焼石岳 › 岩手県 標高1,547m 担当：福田

- 1. 日時 : 平成30年7月22日 (日)
- 2. 集合 : 青森インター駐車場 4:00出発
- 3. 移動 : レンタカー
- 4. 会費 : 5,500円
- 5. 締切 : 7月15日 (日)
- 6. 準備会 : なし
- 7. その他 :
- 8. 申込 : 白戸三和子さん 電話・FAX 742-0360
電話での申込みは17時までに願います

花の山で、登山道の標高1300mから上部に姥石平を中心として広い高原状の地域がある。ここは遅くまで雪が残り、一部は湿地になっている。風も強いので樹木の侵入が少なく灌木の混じった草原だ春の雪解けとともに可憐なヒナザクラをはじめエゾウサギギクなど色とりどりの花が咲く。北海道と南・北アルプスに分布するキバナシャクナゲは、岩木山に続きこの山でも発見された。クロユリも同じような分布をしていてこの山でも見つけた。本州ではこの山にしかない北方系の植物も分布するなど、植物地理学的にも重要な山である。

